

日本学術会議

若手アカデミー(第24期・第3回)GYA 総会国内組織分科会 議事要旨

1 会議 若手アカデミー GYA 総会国内組織分科会 (第24期第3回)

2 日時 8月3日(月) 13:00-14:30

3 会議形式 ビデオ会議

4 議題

4-1 GYA 総会兼学会の開催日程について

4-2 コンテンツ案について

4-3 ファンドレイジングについて

4-4 その他

(参加者) 新福、岸村、岩崎、寺田、竹村、住井、高山、中西、西嶋、田中、安田

(参考人) 駒井、中村

4-1 GYA 総会兼学会の開催日程について

LOCとしては2022年春(5月ないし6月)に福岡開催を希望することで話がまとまった。詳細な日程は各宗教等の重要な祝日を外して調整を行う。

8月17日のGYA会議でLOCの意向としてGYAへ希望を出す予定。2021年秋開催の場合は、オンライン開催をメインに、2022年春開催の場合は、オンサイト開催をメインに準備を進める予定。

4-2 GYA 総会におけるコンテンツに関して、アイデア出しを行った。

すでに出ている環境系のコンテンツのほか、2022年開催の場合にcovid-19を踏まえての議論が必要となる可能性について議論した。すでにあるコンテンツの一部として、シティズンサイエンスとcovid-19に関する内容を入れ込むという案のほか、covid-19に関して科学助言がどう役に立ったのか、covid-19による大学閉鎖に関する教育への影響などを議論するのも良いという案が出た。Covid-19の問題を4つの問題として分け、医療感染症としての問題・経済の問題・Onlineなどのコミュニケーションスタイルの問題・ナショナリズムの問題、として議論を進めると良いのではないかという案が出た。Covid-19の影響として、オンライン開催のメリットとオンサイト開催のメリットについて議論した。最後に、今後のコンテンツの議論の進め方について議論した。当分科会は、GYA 総会担当が2022年春になった場合は、必要に応じて9月にもう一度開催し、25期にも再度分科会を起案の上、冬季はペースを落としたのち、春から月一で分科会を開催することとした。

4-3 ファンドレイジングに関して

主にcovid-19が理由で企業からのファンドレイジングを今すぐは実行することは難しいため、先に助成金の申請を中心に考え、時期を見て企業にあたる予定。

4-4 その他

今後の若手アカデミーの分科会の構成やあり方について議論した。